平成21年度～23年度　習志野市事務事業評価表

1．事務事業基本情報

事業名	№55　合流改善事業（きょう雑物の削減・雨水滞水池）	担当課	下水道課
予算費目名	款 01 / 項 02 / 目 01		

事業概要及び目的	・合流式下水道における雨水吐き室内で、スクリーン施設等によるきょう雑物除去施設の設置を行うことにより、きょう雑物の削減を図る。 （計画期間　平成１７年～平成２１年） ・平成２１年度に計画の見直しを行い、雨水滞水池の改造工事を追加。 （整備目標：平成２５年度まで）		
成果目標	成果指標	きょう雑物除去施設設置箇所数 雨水滞水池の改造工事箇所数	
	計画値	①きょう雑物除去施設設置全９箇所 ②雨水滞水池の改造工事１箇所	

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
予算額（単位：円）	11,319,000円	66,000,000円	29,000,000	2,600,000
決算額（単位：円）	0円	64,944,000円	29,000,000	
従事職員数	２人	３人	５人	
従事延べ日数	52日	78日	26日	

事業の位置づけ			
章	３	安全で安心な暮らしができるまち	
節	３	快適な生活環境の創造	
項	１	都市基盤の整備・充実	
号	４	下水道施設の充実	

★左記施策（号）との結び付き
　きょう雑物除去施設の設置により、下水道施設の充実が図られる。
　公共用水域の水質保全に寄与する。

民間活力の導入
- 現状は？：☐実現している　☐将来可能性はある　☐将来困難だが可能性はある　■余地なし
- 相手は？：☐市民　☐市民活動団体　☐企業・学校等
- 形態は？：

2．進捗状況

年度	21年度評価（20年度実施した事項についての評価）　平成２１年7月23日記入	22年度評価（21年度実施した事項についての評価）　平成２２年６月２日記入	23年度評価（22年度実施した事項についての評価）　平成23年4月19日記入
実施計画上の予定	整備 / 実施計画の予定年度終了後 / 一部実施	整備 / 実施計画の予定年度終了後 / 実施	整備 / 実施計画の予定年度終了後 / 実施
完了した事項	・きょう雑物除去施設１箇所設置（H17年度設置） ・ ・	・きょう雑物除去施設８箇所設置 ・きょう雑物除去施設設置に伴う事後検証 ・合流改善計画の見直し	・雨水滞水池改造実施設計委託 ・ ・
継続している事項	・きょう雑物除去施設８箇所設置 ・きょう雑物除去施設設置に伴う事後検証 ・	・ ・ ・	・ ・ ・
未着手事項	・雨水滞水池改造工事１箇所 ・ ・	・雨水滞水池改造工事１箇所 ・ ・	・雨水滞水池改造工事１箇所 ・ ・
★継続している事項、未着手事項がある理由	きょう雑物除去施設の設置に伴う事後検証に必要な条件である降雨日数が不足したことにより業務委託の繰越をした。		
改善案	きょう雑物除去施設設置に伴う事後検証を引き続き実施する。	H21年度の合流改善計画見直しの結果、雨水滞水池の改造工事を行う。	雨水滞水池の改造工事を行う。
成果指標 実績値	①１箇所 ②　０	①９箇所 ②０箇所	①９箇所 ②０箇所
成果指標 達成率	①１１％ ②０％	①１００％ ②　０％	①１００％ ②　０％

3．今後の方向性　※課内協議を経て管理職が記入してください。

	平成21年７月24日協議実施	平成22年６月４日協議実施	平成23年４月22日協議実施
今後の方向性（成果の方向性／コストの方向性）	成果：拡充／コスト：拡充（○）	成果：拡充／コスト：縮小（○）	成果：拡充／コスト：縮小（○）
★上記を選択した根拠	平成２１年度は事業費を増額し、残る８箇所の設置するため、コスト・成果ともに拡充する。	合流改善計画の見直しにより、雨水滞水池の規模を縮小し、コスト縮減を図りつつ、成果を拡充する。	合流改善計画の見直しにより、雨水滞水池の規模を縮小し、コスト縮減を図りつつ、成果を拡充する。
方向性を実現するため実施すること（改革案）	施設の構造等の見直しにより、安価な施設による手法に変更し、平成２１年度までに残り８箇所の設置完了を目指す。	雨水滞水池改造工事については、管理の省力化を図るとともに省エネ型の機器の選定を行い、平成２５年度までに完了する。	雨水滞水池改造工事については、管理の省力化を図るとともに省エネ型の機器の選定を行い、平成２５年度までに完了する。
前年度改革案の実施状況	■実施　☐一部実施　☐検討中　☐その他　★実施以外は具体的に記載してください。	■実施　☐一部実施　☐検討中　☐その他　★実施以外は具体的に記載してください。	■実施　☐一部実施　☐検討中　☐その他　★実施以外は具体的に記載してください。

（成果の方向性：拡充／現状維持／縮小／休廃止、コストの方向性：休廃止／縮小／現状維持／拡充）

＊根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。